

奥能登の間垣

石川県・輪島市、珠洲市



北西風（うらにし）が雪を飛ばし、海は山に迫る。上大沢は掌ほどの海の村である。山裾をぐるり竹垣で囲み、21軒の黒い藁（いらか）をのぞかせている。間垣は、凍てる冬の強風を柔らかく受け止める竹の城壁のようだ。間垣は冬だけのものではない。夏には西日を遮った涼風が酷暑を救う。支柱となる丸太材は一間ごとにあり、その間の高さ4、5メートルの古いニガ竹を交換する。間垣の名は、この支柱の一間に由来するという。間は物と物、または事と事のあいだ。あるいは仕切り。芝居の台詞と台詞の間に置く無言の時間もあれば、能や歌舞伎の息つまる音や動きの間の空白もある。間は日本文化のキーワードで、時と空間のけじめがない。人間も人と人之間である。日本人は西洋人のように絶対神を持たない。森羅万象すべてに魂の存在をみる。海、木や石にも時おり神をみることがある。風に対しても神をみる。だから間垣はブロック塀のように絶対的に風を閉ざさない。間垣は、神と人之間ではないだろうか。ここでは、人は自然のリズムの中で呼吸する。自然を「しぜん」としたのは明治初期の新語である。それまで日本人は自然を「ジネン」と読み、「ありのまま」との意味で使っていた。奥能登は今でも神と共に暮らしている。

TOPICS

- ・大沢夏祭り（8月17日～18日 開催・輪島市）
- ・山王祭り（8月10日～11日 開催・旧門前町）
- ・特産品：岩のり、桶滝、男女滝

お問い合わせ先

石川県輪島市建設部土木課

TEL / 0768-23-1151

URL / <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/>

【交通】

車 / 能登空港から50分

